

★ヒューマンコミュニケーション基礎研究会 (HCS)

専門委員長 松田昌史 副委員長 渡邊伸行・井上智雄

幹事 林 勇吾・小森政嗣・吉田 悠 幹事補佐 高嶋和毅・藤原 健・寺田和憲・木村 敦

◎本研究会は参加費が必要になります。

HCGの技報電子化研究会に関する御案内ページ

<https://www.hcg-ieice.org/studygroups/techrep>

日時 3月7日(木) 13:00~18:20

8日(金) 9:30~15:50

会場 北星学園大学(札幌市厚別区大谷地西2-3-1。地下鉄:大谷地駅より徒歩5分。 <http://www.hokusei.ac.jp/access/> TEL [011] 891-2731 大坊郁夫)

議題 コミュニケーション研究の来し方行く末、及び一般

7日 発達とコミュニケーション

1. ディスカッション中の幼児の行動分析におけるメンバー変更時の行動変化に関する考察
○福田 量(九工大)・大森隆司(玉川大)・古川徹生・堀尾恵一(九工大)
2. 学生主導のインターナショナルコミュニケーションを活用した大学ゼミナール教育の試行
○平田 慶・永井暁行・林 秀彦(北星学園大)
3. ラジオとコミュニケーションの未来—ラジオ業界の現状と若者のラジオ離れの解決策に関する考察—
○及川達也・林 秀彦(北星学園大)

ソーシャルメディアとコミュニケーション

4. The effects of social media usage on loneliness and well-being—Comparing Facebook, Twitter and Instagram—
○Shaoyu Ye (Univ. of Tsukuba)・Kevin K.W.Ho (Univ. of Guam)・Andre Zerbe (Univ. of Born)
5. 気分障害に適したtwitter上コミュニケーションの最適化手法の検討 ○伊藤直也・米澤朋子(関西大)
6. スマートフォンを利用した企業内ウォーキングイベントの効果—イベント参加者の特性による効果の違い—
○三島浩路(中部大)・黒川雅幸(愛知教大)・小西達也・永田雅俊・本庄 勝・米山暁夫(KDDI総合研究所)

顔印象とコミュニケーション

7. 顔の第一印象における目の位置と大きさ及び肌の色合いの効果—健康的な顔は魅力的か—
○加藤 隆(関西大)・向田 茂(北海道情報大)
8. 求心顔及び遠心顔における顔の部位の配置の程度が顔の印象に及ぼす影響 ○岡田莉奈・渡邊伸行(金沢工大)
9. データ駆動処理による顔支配性印象のモデル化 ○中村航洋(早大/学振/慶大)・渡邊克巳(早大)

特別講演

10. [特別講演] コミュニケーション研究の未来予想を描こう 大坊郁夫(北星学園大)

8日午前 文化とコミュニケーション

1. 外国人観光客のための京都市内における言語景観
○中島敬之・南條浩輝・壇辻正剛(京大)・森西優次・望月理香・渡辺昌洋(NTT)
2. 京都市内の商店街における看板の多言語表記の実態調査 ○中島敬之・後藤 岳・畠中博晶・佐々木灯地・清水友登・樋田祐一・我妻 樹・南條浩輝・壇辻正剛(京大)・望月理香・渡辺昌洋(NTT)
3. 言語文化に応じた情報提供時のレイアウト表現の検討
○渡辺昌洋・望月理香・森西優次(NTT)・中島敬之・南條浩輝・壇辻正剛(京大)

言語とコミュニケーション

4. 医療記録文の言語解析 ○菅野亜紀(名大医学部附属病院)・大田美香・高岡 裕(神戸大医学部附属病院)
5. 母語話者との会話を支援する非母語話者用エージェントにおけるモダリティの影響
○河合公美子・井上智雄(筑波大)
6. スマートスピーカーによるフィラーとポーズを伴う返答に対するアニマシー知覚
檜山貴義・坂本暁彦・○高木幸子(常磐大)

8日午後 視覚認知とコミュニケーション(13:10~)

7. 日常物体画像に対する空間的注意に着目した難易度調節可能な視覚的認知課題の検討
○檜作孟志・榎堀 優・間瀬健二(名大)
8. ビデオチャット場面での印象形成に視線と顔方向の交互作用が及ぼす影響
○安田 孝(松山東雲女子大)・伊藤博晃(北大)
9. 競合する同性の外見の魅力に基づく異性へのアプローチの調整—マッチングアプリ的場面での検討—
○塩川史崇・上田竜平・蘆田 宏(京大)

合意形成とコミュニケーション

10. 協力場面における対人インタラクションの当事者評価と客観評価 村田藍子・○熊野史朗・渡邊淳司 (NTT)
11. 合意形成場面におけるファシリテーションの効果—性格特性と親密度が与える影響— 安本侑弥 (近畿大)
12. Interpersonal sensitivity enhances group performance in brain storming task—Comparison with pseudogroup—
○Ken Fujiwara・Ryosuke Hosono (Osaka Univ. of Economics)

◎7日の研究会終了後、懇親会を予定しています。別途、御案内しますので、是非御参加下さい。

【問合せ先】 HCS研究会幹事団

E-mail : hcs-kanji@mail.ieice.org

◎最新情報は、HCS研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/~hcs/>